

岩手県立高田高等学校 広報



第7号

# 八重の汐

技 訓  
至 誠  
錬 磨  
創 造

## 主権者教育授業

六月十六日(水)の六校時から七校時にかけての時間帯で、三学年生徒を対象に第一体育館において、岩手県選挙管理委員会の海山宙也様、陸前高田市役所の田宮一樹様、その他陸前高田市選挙管理委員会の方々を講師としてお招きし、主権者教育授業が実施されました。

この授業は、選挙の仕組みを理解し、有権者としての意識を高めることを目的に行われたものです。



講義を受講中

令和三年度においては少なくとも、十月二十一日の衆議院議員任期満了に伴う国政選挙が実施されますので、受講した生徒の多くが有権者として選挙に関係することになります。そのためもあって、皆真剣に授業に臨みました。講義の他にも、模擬投票が行われました。陸前高田市選挙管理委員会様の一



模擬投票

協力により、実際の選挙で使われる投票用紙や記載台、投票箱が用意されました。三人の生徒が架空の三つの政党の代表者になって演説した後、生徒達はそれぞれ支持したい代表者や政党を決めて投票を行いました。

## 東京2020オリンピック聖火リレー及びピレシブレイシヨル

六月十六日(水)から十八日(金)まで、新たな復興への誓いが込められた「復興五輪」の聖火が県内を巡りました。その中で、陸前高田市では十七日(木)の夕方、聖火リレーが行われました。



大和田海雅さん

この聖火リレーでは、本校の一年生の二人がランナーとして聖火を運びました。一人目が、大和田海雅さんで、陸前高田市での第二走者を務めました。二人目が村上紗也子さんで、最終走者を務めました。



書道部のパフォーマンス

「アバツセタかた」の駐車場では、最終走者のゴールを祝う「セレブレション」が開催され、本校書道部がパフォーマンスで花を添えました。



村上紗也子さん

村上さんは、温かい拍手に迎えられながらゴールし、聖火は県内最終日の第一区間である一関市に引き継がれました。コロナ禍という大変な状況が続く中、オリンピックに関わるという得難い経験を果たした生徒達は、大き

く成長できたようです。

## 海翔力「網実習」

六月十六日(水)から、十八日(金)にかけて、海洋システム科一学年生徒が岩手県水産海洋系三高の共同実習船「海翔」に乗船して「カゴ網」実習を行いました。



「海翔」の船上

この実習は、乗船により慣海性を養うとともに、船内における共同生活とおして協力や助け合いの精神を育み、将来の漁業の担い手を育成することを目的に行われたものです。



宮古市の重茂半島沖

生徒は二班に分かれてこの実習に参加しました。

実習におけるルートは、宮古水産高校の「海翔」に乗船することから、宮古港を出港した後、大船渡港に寄りながら宮古港に帰港するというものでした。そして、この航海中に海底にカゴ網を設置する体験をしました。



←タコです

実習中は、皆が船酔いに苦しみましたが、漁獲物があるとやはり嬉しいものです。実習に参加した生徒は、陸上では得られない貴重な経験ができました。



皆、成長できました